

## 第2回安全保障講座の 開催について

### 安全保障研究委員会

令和7年11月17日（月）、グラン  
ドヒル市ヶ谷において「第2回陸修  
偕行社安全保障講座」を開催し、陸  
上幕僚監部装備計画部長である池田  
孝一陸将補を講師としてお招きし  
て、「持続性・強靱性強化の取り組  
み」と題して講演を実施していただ  
きました。

講演では、ウクライナ戦争を例に、  
ハイブリット戦、ドローン戦という  
先端技術が駆使される一方で、長期  
間にわたる消耗戦となると、新  
旧織り交ぜたような現代戦の特性を  
あげ、こうした中で粘り強い戦いを  
続けるためには、防衛力の強化は当  
然であるが、サプライチェーンをは  
じめ、企業からのサポートを確保し  
て、部隊までの広大・複雑なネット  
ワークを維持して戦いを継続できる  
態勢・体制の整備が必要であるとの  
認識も示されました。

さらに、後方運用の実効性を向上  
するためには、特に「可動の維持・

向上」が重要であり、そのために整  
備期間の短縮、重要部品などの在庫  
の確保、モスボール施策（用途廃止  
予定の装備品の一部を長期保管）等  
による予備の確保など、これまでボ  
トルネックとなっていた様々な課題  
に取り組んでいる状況について説明  
がありました。

また国の施策として戦略3文書に  
おいて明確化された防衛生産・技術  
基盤の強化や、今後の防衛装備移転  
の推進が防衛基盤強化のカギとなる  
との認識も示されました。


池田部長は、講演の終始にわたり  
官民一体の連携強化が重要であるこ  
とを強調しつつ、持続性・強靱性の  
強化のためさらなる企業の協力をお  
願いしたいと熱く語られました。

防衛省・自衛隊は、2027年度ま  
での最優先課題の一つとして持続  
性・強靱性の強化を挙げており、今  
回、陸上自衛隊ロジスティクスの中  
枢を担う池田部長から、多くの写真  
や図解を交えた丁寧かつ具体的な説  
明をしていただき、参加者は2時間  
にわたり終始熱心に聴き入っていま  
した。講演後には「わかりやすい説  
明で理解が深まった。」「企業として  
まだまだ協力できる分野がありそう

だ。」といった感想が聞かれました。  
本講演には、陸上幕僚監部から装  
備計画部の課・室長、班長等16名に  
加え、防衛装備庁から木之田プロ  
ジェクト管理総括官も聴講されまし  
た。また防衛関連企業等からは約  
110名もの方々が聴講するなど、  
今回のテーマに対する防衛産業業界  
の関心の高さも感じられました。

官と聴講者との間で講演の内容につ  
いて活発な意見交換がなされるとと  
もに、現職自衛官及び会員相互の親  
睦を深めることができました。  
陸修偕行社は、今後も安全保障講  
座等の開催を通じて、現職幹部自衛  
官と参加者との知見交流を活性化さ  
せつつ、防衛基盤の強化拡充に寄与  
できるような活動を続けてまいりま  
す。引き続き興味のある方々のご参  
加をお待ちしております。

だれでも  
手軽に作れて  
手軽に食べられる



### 災害時の非常食に ハイキング・アウトドアの携行食に

話題の「ミリメシ」の元祖  
株式会社 **武蔵富装**

相談役：志摩 篤（陸自57 防大1）

TEL 03-5296-2833  
FAX 03-3256-7388

- 陸上自衛隊戦闘糧食
- ミリメシ
  - 防災あつあつロングライフ
  - 防災丸かじりセット
- 食品用加熱剤「サバイバルヒーター」